

入院診療計画書〔経皮的血管形成術(PTA)〕を受けられる方へ











・入院中に症状が起こったときは、すぐにナースコールでお知らせ下さい

病棟:

入院予定期間:

ID:

様 病名(主要病状等)^{(注)1}

経過 ^{(注)2}	入院日 (治療前日)	治療当日()例目()時頃		治療後1日目	治療後2日目～退院予定日 ^{(注)2}	
		治療前	治療後			
月日 / / 治療 薬剤 (内服・点滴) 処置	/ / ・薬剤師が現在使用中のすべてのお薬を確認します ・薬はいつも通りに内服して下さい ・中止の薬があれば説明します ・眠れないときは睡眠薬をお渡ししますのでお申し出下さい ・心電図(必要に応じてつけます)	/ / ・朝の薬は少量の水で内服して下さい ・中止薬 () ・足の付け根からの場合は状況に応じて尿の管を入れていきます ・穿刺部位 () ・()時から点滴をします	/ / ・薬は今まで通り内服します ・治療内容により内服が追加、変更になります ・治療内容により、内服や抗凝固剤の点滴が始まります 	/ /	/ /	【退院の目安】 下肢の症状がなければ退院できます(治療後4日目) 
検査	・採血、レントゲン 心電図、心臓超音波検査 トレッドミル 皮膚灌流圧検査 血圧脈波測定 			・採血 		・採血
食事	・食事はいつも通り食べられます ・食事のかたさや飲みこみに不安がられる方、食べ物のアレルギーがある方はお申し出ください	・()は治療の後に食べます	・気分不良がなければ食事摂取できます ・造影剤を早く排泄する為に水分を多めにとってください(コップ2～3杯程度) ただし水分制限のある方はお知らせします 肘:座って食べられます 足の付け根:寝たままの状態でご介助で食べられます	・食事はいつも通り食べられます 		
安静度	・病院内は自由です(エレベーターをご利用下さい) ・制限がある方 ()	・治療室へは安静度に応じて看護師と一緒にいきます	・肘の場合車椅子にて帰室し、治療の管を抜いて帰ってきます 圧迫が数時間必要です 圧迫時間は個人差があるため、当日説明します ・足の付け根の場合ストレッチャーにて帰室し、治療の管を入れたまま帰ってきます、管を抜いて約5～6時間圧迫します 無意識に足を曲げる可能性があるため、管を刺した方の膝と足首をベルトで固定します ・管を刺した方の足、もしくは腕は絶対曲げないようにして下さい	・病棟内自由です(検査など行かれる時は)車椅子で介助します 	・病棟内自由です	・病院内自由です(エレベーターをご利用下さい)
清潔排泄	・シャワー、入浴又は体拭きを行います 	・呼び出しがあつてから排尿をおすすめ下さい	・肘の場合はトイレ歩行できます(看護師と一緒に) ・足の付け根の場合はベッド上で尿器を使用し寝たまま行きます(尿が出ない時は、管を入れて出すこともあります)	・安静に応じて体拭きやシャワーのご案内をします		・退院後は入浴可能です
患者さん及びご家族への説明 その他	・看護師から入院中の生活についての説明があります ・主治医より治療について説明があります ・医療安全の為ネームバンドをつけます ・入院中何かわからないことがございましたら遠慮なくお尋ねください	・治療の順番及び食事や内服についての説明があります 	・治療の管を刺した所から、出血したり腫れてきたり痛みが強かったり、吐き気がするようでしたら我慢しないですぐお知らせ下さい ・圧迫が取れた後でも出血したり、腫れてくる事があるので過度な運動はお避け下さい ・治療後に結果の説明がありますのでご家族の方も、お越し下さい 	・看護師より退院時の説明があります ・入院診療費通知書を医事課の者がお持ちします ・お帰りの際はネームバンドを外します 	・診断書が必要な方は退院決定後にお申し出下さい なお、保険会社用の用紙の提出が必要です	

(注)1 病名(主要症状等)などは、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わり得るものです

(注)2 退院予定時期については、現時点で予想されるものです。何か御不明な点がございましたら担当主治医もしくは看護師にお尋ねください

特別な栄養管理の必要性: (有) ・ 無

説明した日付:

(本人・家族):

(受け持ち看護師):

薬剤師:
栄養士:

(主治医)

